11月開催 市民文化祭

参加者奮ってご応募を

ゆとりある心が創る 海老名の文化

展示部門・華道展（去年の会場から）

教育委員会では、市民のみなさんとともに創り育てる「海老名市民文化祭」を毎年秋に開催しています。今年も11月に「ゆとりある心が創る　海老名の文化」をメーンテーマに、以下の内容で実施します。このため、出展や出演を希望する方を次のとおり募集します。日ごろの活動の成果を発表できるいい機会ですので、奮ってご応募ください。

●展示部門

▽会場と日程
▼市民ギャラリー＝11月1日（金）～4日（休）と7日（木）～10日（日）
▼中央公民館・総合福祉会館・文化会館＝2日（土）～4日（休）
▽内容　華道・書道・茶道・俳句・短歌・工芸・絵画・陶芸・写真など

●出演部門

▽日程　2日（土）・3日（日）
▽会場　文化会館大ホール
▽内容　舞踊・ダンス・郷土芸能・詩吟・演奏など　※市民音楽祭などの参加団体は応募できません。
※対象はいずれも市内在住・在勤・在学の方です
※作品の大きさ、展示方法、出演時間、舞台演出など、応募基準がありますので、詳しくは生涯学習課へお問い合わせください。

申　生涯学習課（文化会館・中央公民館内）にある所定の参加申込書に記入のうえ、7月3日（水）～8月14日（水）に同課へ直接提出してください。

問　同課（☎232・3231＝火曜休館）。

思いつくままに

痛いやら、面はゆいやら

関東市長会が群馬県で開催された帰路のことです。東京駅で新幹線から在来線に乗り換えるため、上りエスカレーターを利用しましたが、上の方で若者がふざけあっていました。私と私の前に乗っていた方がその巻き添えを受け、ベルトに掴まっていなかった私だけが、下まで転倒しました。荷物を持っていたにせよ、ベルトに掴まっていなかった私にも非はありますが…。

結果は、救急車で病院に搬送され、頭部2ヵ所にそれぞれ、4針の縫合となりました。医師には、貴重な頭髪は、あまり剃り落とさないように依頼したほどですから、意識はしっかりしていたと思います。

後日談ですが、その翌日、慰霊祭があり、頭部にネットを被って献花をいたしました。会合にも出ました。そんな私を見た市民の反応です。「市長は足腰が弱ったのだろうか」という話や「あの状況で、あの程度の怪我で済んだのは鍛錬の結果、年齢の割には、まだまだ若い」と。「年齢の割には」は余分ですが、面はゆい思いです。

思うに、エスカレーターのベルトは何のためについているのか？　よくデパート等では「エスカレーターのベルトに掴まり中央にお乗りください。お子さんの手を引いて…」という放送が流れるのを聞けば、目的はおのずと分かるはずです。事故にあった今、改めて「左手に上着を、右手に荷物を持っていたため、バランスを欠いたから…」では済まされず、自業自得というところです。

公共施設のバリアフリー化に向かって、整備充実を図っていますが、一歩誤ると凶器になりかねません。そこに絶えず必要とされるのがモラルであることを実感しました。

海老名市長　亀井英一

青少年に「声かけ」を

最近目につく喫煙行為

7月は「非行問題に取り組む全国強調月間」です

7月は「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」です。期間中は、関係機関や諸団体により全国的規模で非行防止・健全育成の取り組みが行われます。地域や家族との触れ合いを大切にして、青少年が非行に走らない社会環境を作りましょう。

◎青少年に声かけを

青少年相談センターでは、青少年の非行防止のため、青少年補導員による計画的な市内繁華街・公園・駅周辺などの巡回や、不良行為少年への声かけを行っています。また、有害な看板、ポスター類の撤去活動にも協力していますが、最近、海老名中央公園や駅周辺における喫煙が目に付きます。

喫煙している青少年に声をかけると、ほとんどは「すみませんでした」という声が返ってきますが、中には「働いているからいいだろう」などと言って喫煙を止めず反抗してくる少年もいます。

このような問題の解決のためには、家庭や地域で、青少年の喫煙など不良行為について、黙認しないという風潮を高めることが必要です。

非行防止

啓発ポスターを募集

小学生5・6年と中学生対象

市と教育委員会では、非行防止啓発活動の一環として、ポスターを募集します。

▽応募資格　①小学生の部＝市内在住の小学5・6年生　②中学生の部＝市内在住の中学生

▽内容　青少年の非行防止に関するもの
▽規格　画用紙四ツ切り（39チセン×54チセン）
▽提出先　青少年相談センターへ直接持参
▽締め切り　9月10日（火）
▽発表　広報えびな紙上（予定）
▽表彰　「家庭と地域の教育を考えるつどい」で実施
▽賞　最優秀賞＝各部1点、優秀賞＝各部7点。応募者全員に記念品を贈呈します
▽その他　①応募作品は未発表のものに限ります　②応募作品の裏面右下に住所、氏名（ふりがな）、電話番号、学校名、学年を明記のこと。作品についてのコメントがあれば併せて記入してください　③入賞作品の著作権は市に帰属します　④最優秀作品2点は、非行防止啓発ポスターとして作成し、市内小中学校、公共施設などに掲示します。また、応募作品は海老名市青少年健全育成連絡協議会の活動にも活用します。

問　青少年相談センター（☎234・8764）。

●相談受け付けています

悩みや心配ごと

～教育・非行・就学～

問題解決へ専門員が対応

青少年相談センターでは、20歳未満の青少年に関する教育相談・非行相談・就学相談を受け付けています。悩みや心配ごとがありましたら、ぜひご相談ください。専門の相談員が対応し、問題解決を援助します。秘密は厳守しますので気軽にご利用ください。

▽受付時間　午前9時～午後4時30分（土・日・祝日・年末年始を除く）

問　同センター（上郷476－2＝文化会館小ホール4階、☎234・8700）。

まちかどニュース

走ってひったくり犯を御用

表彰を受けた渡邊さん

○…去年9月に中央1丁目で発生したひったくり事件で、犯人逮捕に協力した渡邊英明さん（市内警備会社経営）が（社）日本善行会から表彰されました。

事件は、歩行中の女性がバッグをひったくられ、偶然これを目撃した渡邊さんが、犯人を200㍍追いかけて捕まえ、かけつけた海老名警察署員に引き渡したものです。同署から感謝状も贈られた渡邊さんは「まさか目の前でこんな事件に遭遇するとは」と驚きましたが、とっさに追いかけました。当然のことをしたまでですが、無事解決してよかったと思います」と話してくれました。

海老名警察署は、ひったくり防止策として、「歩道では、バッグは車道と反対側で持つ」「自転車のかごには網をかける」などの心がけだけでも効果が大きいと呼びかけています。